

# 令和5年度 岡山県看護職員確保対策委員会資料

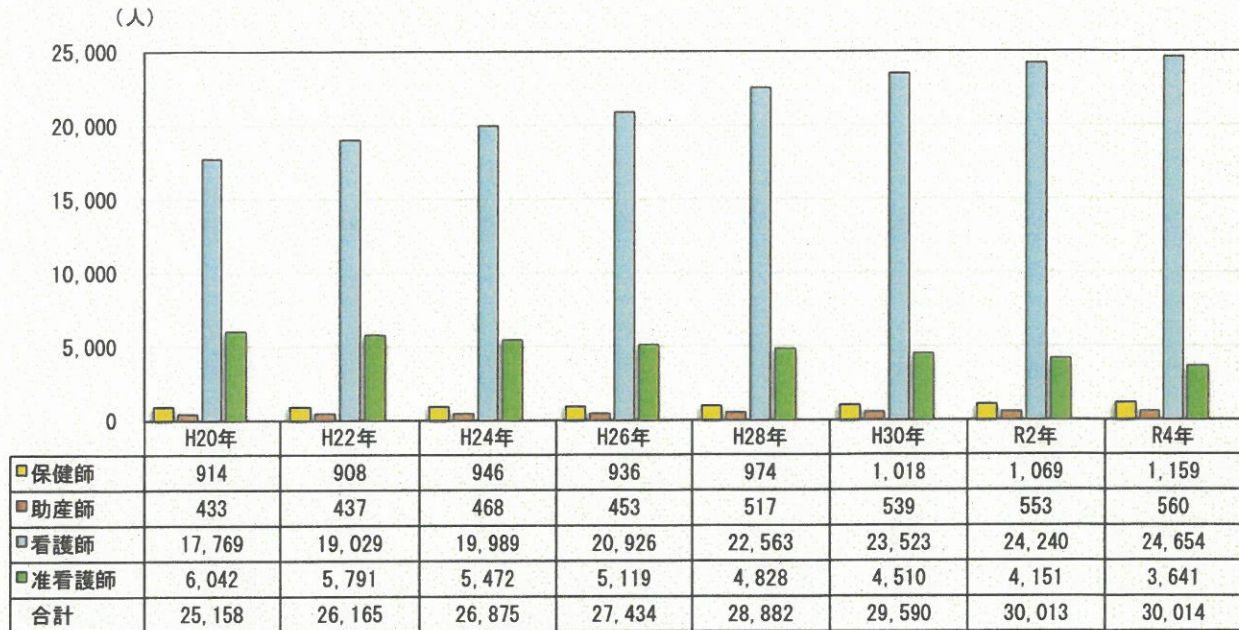
- 資料1 県内の就業看護職員数・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1  
    図表1-(1) 県内の看護職員数の推移(H20年～R4年)  
    図表1-(2) 県内の年齢別の看護職員数(R4年)  
    図表1-(3) 県内の就業場所別の看護職員数の推移(H26年～R4年)  
    図表1-(4) 県内の就業場所別・年齢別の看護職員数(R4年)
- 資料2 県内の看護師等学校養成所の入学・卒業状況・・・・・・・・ P 3  
    図表2-(1) 看護師等学校養成所入学状況(H31～R5)  
    図表2-(2) 看護師等学校養成所卒業生就業状況(H30～R4)  
    図表2-(3) 県内の課程別の看護師等学校養成所数と1学年定員数(R5)  
    図表2-(4) 県内の看護師の学校養成所入学定員の推移(H26～R5)  
    図表2-(5) 県内の看護師の学校養成所入学者数の推移(H26～R5)
- 資料3 県内の病院看護職員の離職状況・・・・・・・・ P 6  
    図表3-(1) 常勤看護職員の離職率の推移(H28～R4)  
    図表3-(2) 新人看護職員の離職理由(R2～R4)  
    図表3-(3) 再就労看護職員の離職理由(R2～R4)
- 資料4 ナースセンター事業・・・・・・・・ P 7  
    図表4-(1) 求人求職相談・延件数(H30～R4)  
    図表4-(2) 再就業者数(R3～R4)  
    図表4-(3) 求人求職登録者数(R4)  
    図表4-(4) 年度末時点の求人求職登録者数の推移(H30～R4)  
    図表4-(5) ナースセンター登録状況(R4～R5)
- 資料5 二次保健医療圏域別の看護職員の状況・・・・・・・・ P 8  
    図表5-(1) 圏域別の看護職員数(R4)  
    図表5-(2) 圏域別年齢別の看護職員数(R4)  
    図表5-(3) 圏域別の新人看護職員数(R4)  
    図表5-(4) 圏域別求人に対する看護職員の確保割合の推移(H25～R4)  
    図表5-(5) 圏域別常勤看護職員の離職率の推移(H25～R4)  
    図表5-(6) 圏域別新人看護職員の1年以内の離職率の推移(H25～R4)

令和6年3月

岡山県保健医療部医療推進課

# 1 県内の就業看護職員数

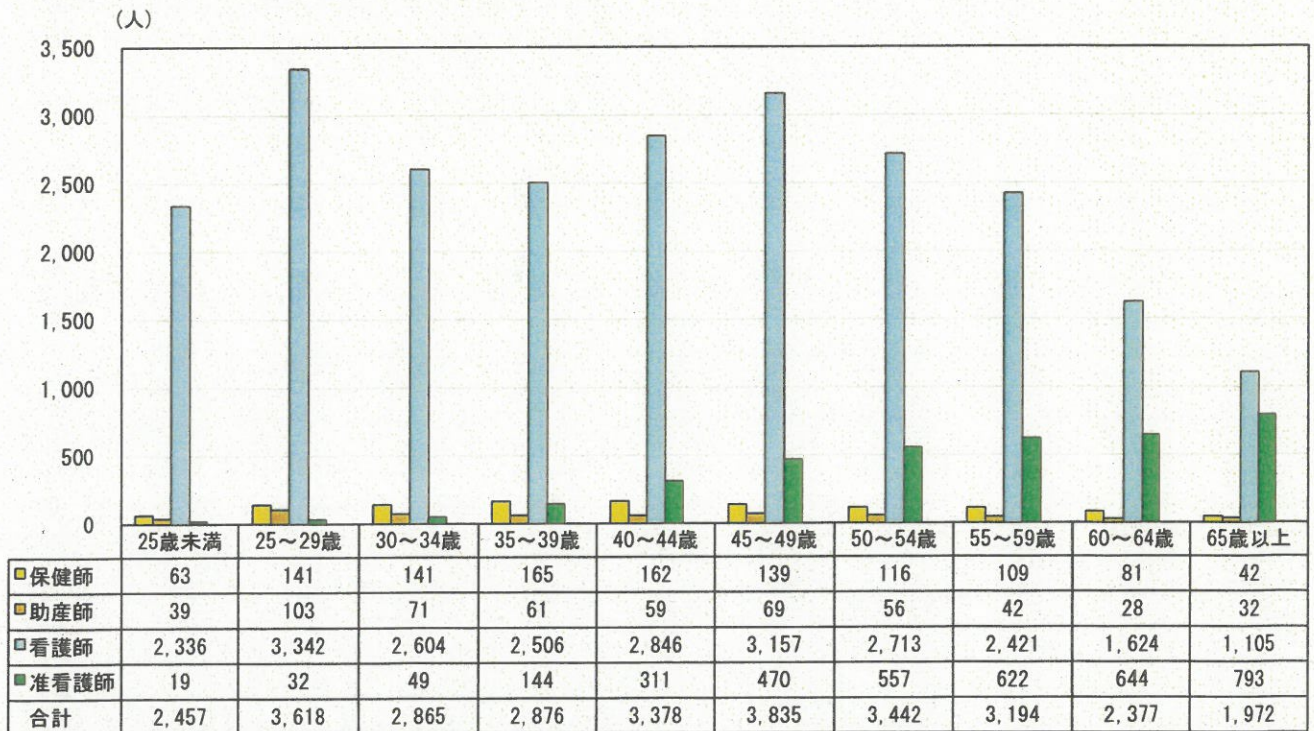
図表 1 - (1) 県内の看護職員数の推移 (H20年～R4年)



【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

県内に就業する看護職員数は、R4年12月末現在 30,014人で、准看護師以外は増加している。

図表 1 - (2) 県内の年齢別の看護職員数 (R4年)

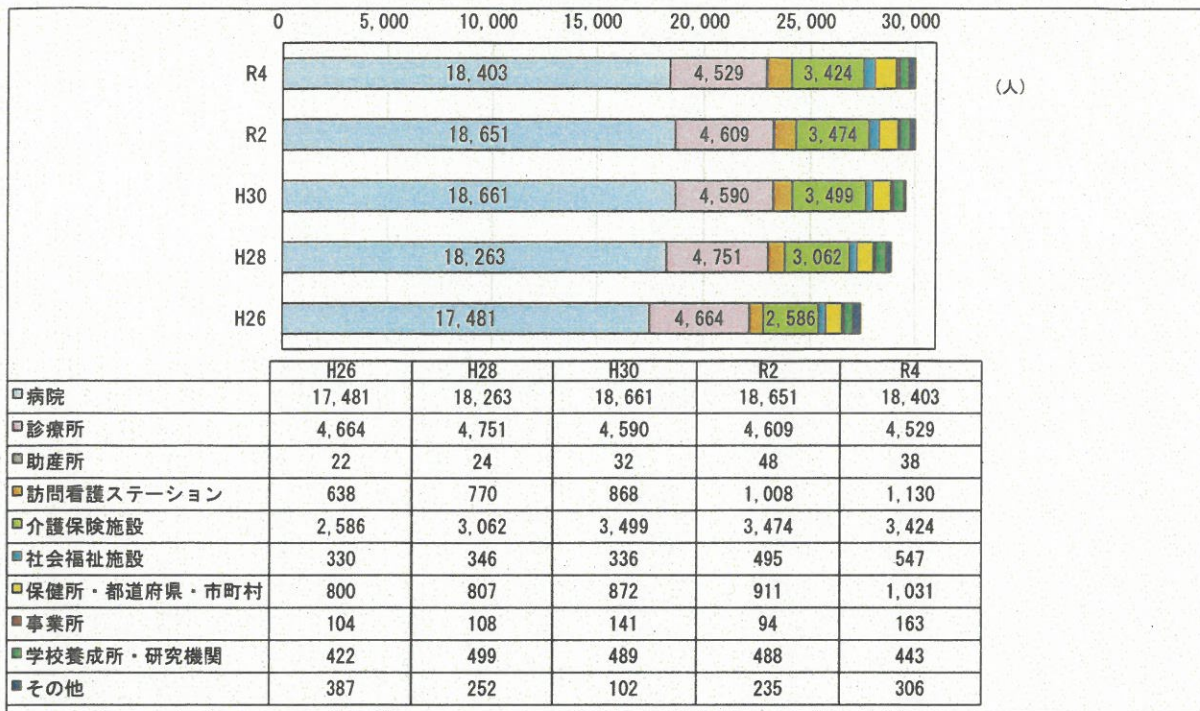


【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

県内の看護職員の年齢構成は、看護職員全体では45～49歳が最も多く、准看護師は65歳以上が多かった。



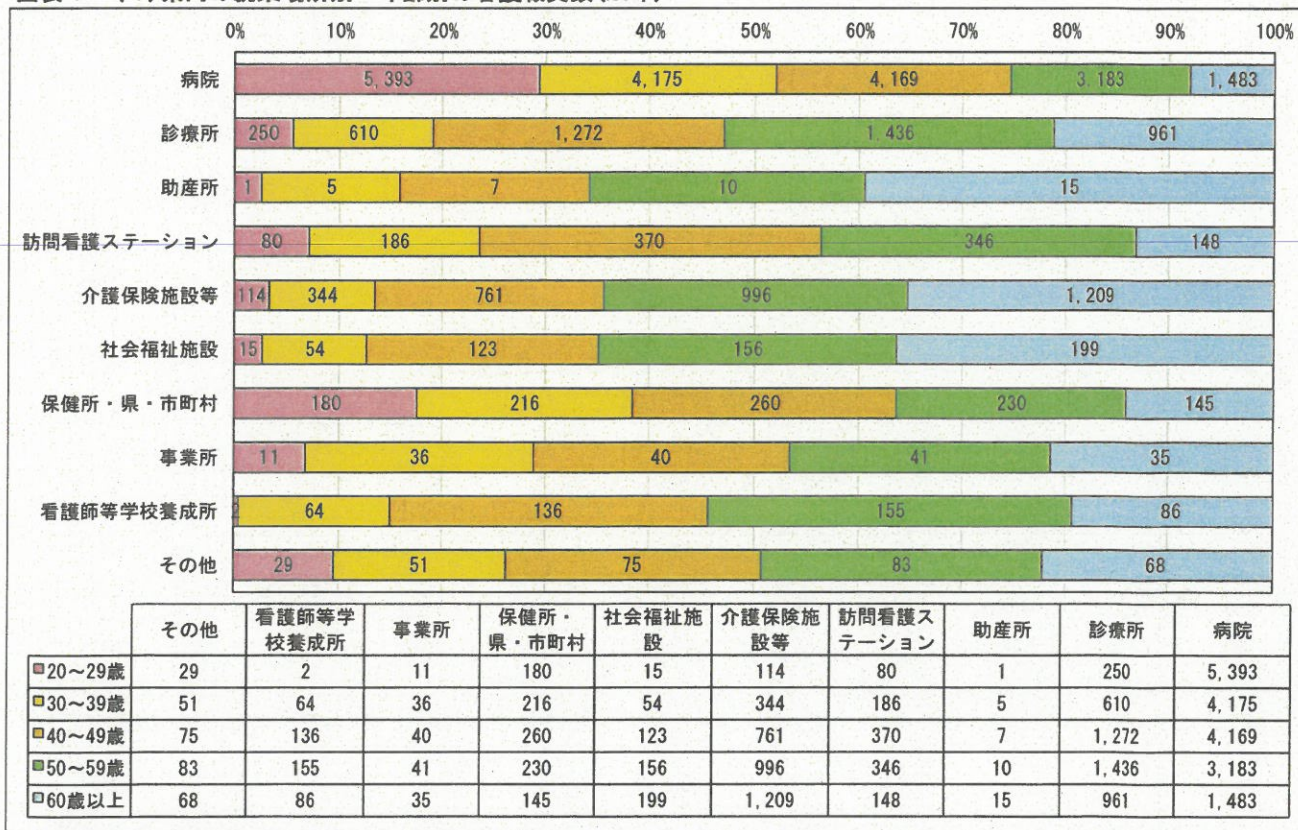
図表 1-(3) 県内の就業場所別の看護職員数の推移(H26年~R4年)



【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

訪問看護ステーションや社会福祉施設の従事者数が増加している。

図表 1-(4) 県内の就業場所別・年齢別の看護職員数(R4年)



【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

診療所、助産所、介護保険施設、社会福祉施設、看護師等学校養成所では40歳以上が80%を超えており、助産所、介護保険施設や社会福祉施設では、60歳以上が30%以上となっていた。



## 2 県内の看護師等学校養成所の入学・卒業状況

図表 2-(1) 看護師等学校養成所(大学院・大学・助産師課程・看護師課程・准看護師養成所)入学状況(H31~R5)  
\*令和4年度から県内に准看護師養成所なし。

年度	1学年 定員	応募・受験・合格・入学者					入学者男子		出身別入学者数		
		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	充足率	男子	男子率	県内	県外	県内率
平成31年度	1,823	4,743	4,440	2,435	1,716	94.1%	158	9.2%	998	718	58.2%
令和2年度	1,813	4,738	4,410	2,448	1,705	94.0%	147	8.6%	1,000	704	58.7%
令和3年度	1,651	4,188	3,796	2,232	1,549	93.8%	136	8.8%	983	566	63.5%
令和4年度	1,571	3,439	3,101	2,035	1,434	91.3%	113	7.9%	924	510	64.4%
令和5年度	1,571	3,280	2,957	1,953	1,368	87.1%	109	8.0%	862	506	63.0%

【資料】「看護師等学校養成所入学状況及び卒業状況調査」

図表 2-(2) 看護師等学校養成所(大学院・大学・助産師課程・看護師課程・准看護師養成所)卒業生就業状況(H30~R4)  
\*令和4年度から県内に准看護師養成所なし。

年度	入学時 学生数	卒業生数	卒業生男子		看護職として就業					
			男子	男子率	実習病院	他病院	診療所	保その他	就業計	就業率
平成30年度	1,718	1,519	135	8.9%	651	694	0	33	1,378	90.7%
令和元年度	1,722	1,496	131	8.8%	592	694	2	58	1,346	90.0%
令和2年度	1,776	1,530	126	8.2%	654	686	1	45	1,386	90.6%
令和3年度	1,717	1,458	111	7.6%	647	615	2	68	1,332	91.4%
令和4年度	1,692	1,470	116	7.9%	663	607	1	81	1,352	92.0%

年度	就業地			看護職以外 に就業	進学						その他
	県内就業	県外就業	県内就業率		保健師	助産師	保・助	看護師	その他	進学計	
平成30年度	877	501	63.6%	27	7	41	0	10	13	71	43
令和元年度	849	497	63.1%	29	12	45	0	4	14	75	46
令和2年度	912	474	65.8%	30	10	37	0	3	13	63	51
令和3年度	898	434	67.4%	13	9	48	0	1	12	70	43
令和4年度	901	451	66.6%	19	7	39	0	0	9	55	44

【資料】「看護師等学校養成所入学状況及び卒業状況調査」



図表 2 - (3) 県内の課程別の看護師等学校養成所数と1学年定員数(R5)

課程	学校養成所種別	施設数	1学年定員数(人)
保健師	大学院	1	7
	大学	5	110*
	養成所(保健師統合カリキュラム)○	1	40*
	小計	7	157
助産師	大学院	2	20
	大学	1	4*
	大学専攻科	2	15
	養成所	1	16
	小計	6	55
看護師	大学	6	458
	短期大学	1	120
	養成所(保健師統合カリキュラム)○	1	40
	養成所(3年課程)	13	680
	養成所(2年課程)	1	20
	高等学校5年一貫校	5	195
	小計	27	1,513
	合計		1,571 (定員小計-*)

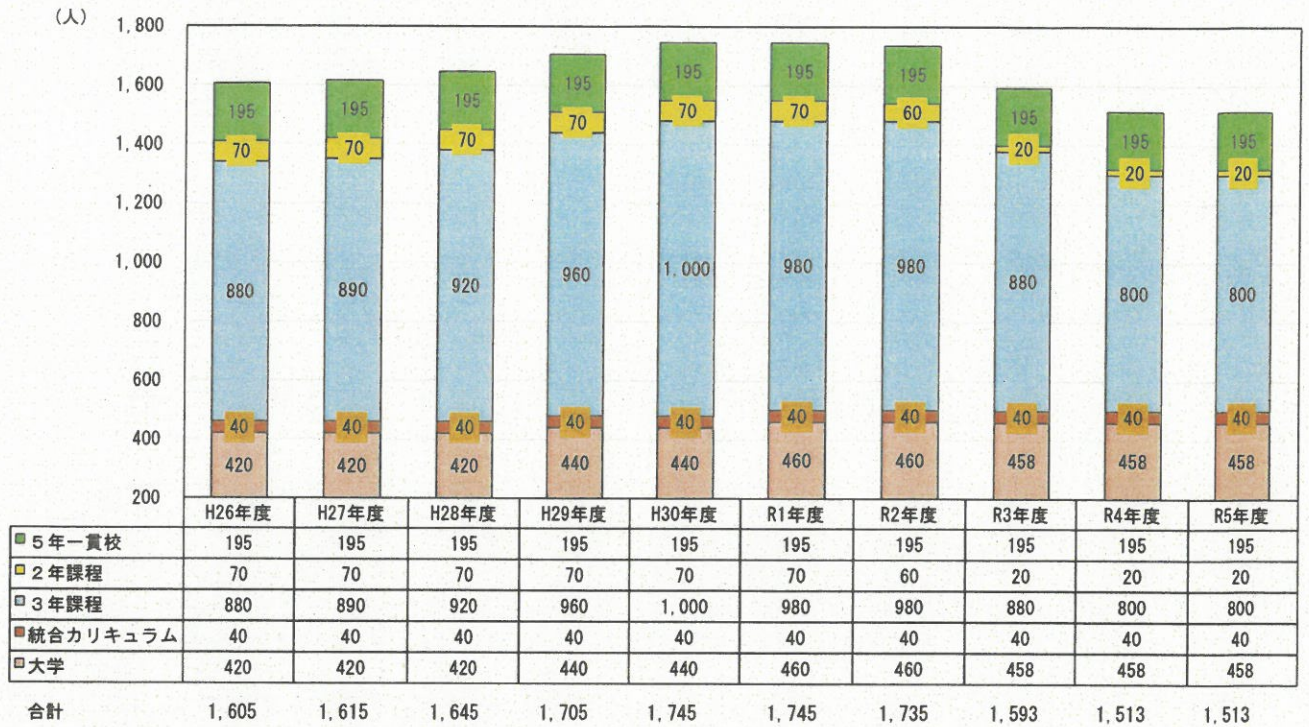
\* : 看護師課程の定員の内数  
○ : 同一養成所における統合カリキュラム

【参考】近年定員数が減員及び学生募集を停止している学校養成所

課程	学校養成所種別	施設数	備考
看護師	養成所(3年課程)	1	学生募集停止、令和5年度閉校予定 1学年定員数80人
		1	令和4年度末閉校 1学年定員数60人
	養成所(2年課程)	1	令和3年度末閉校 1学年定員数40人
准看護師	養成所	1	令和3年度末閉校 1学年定員数20人



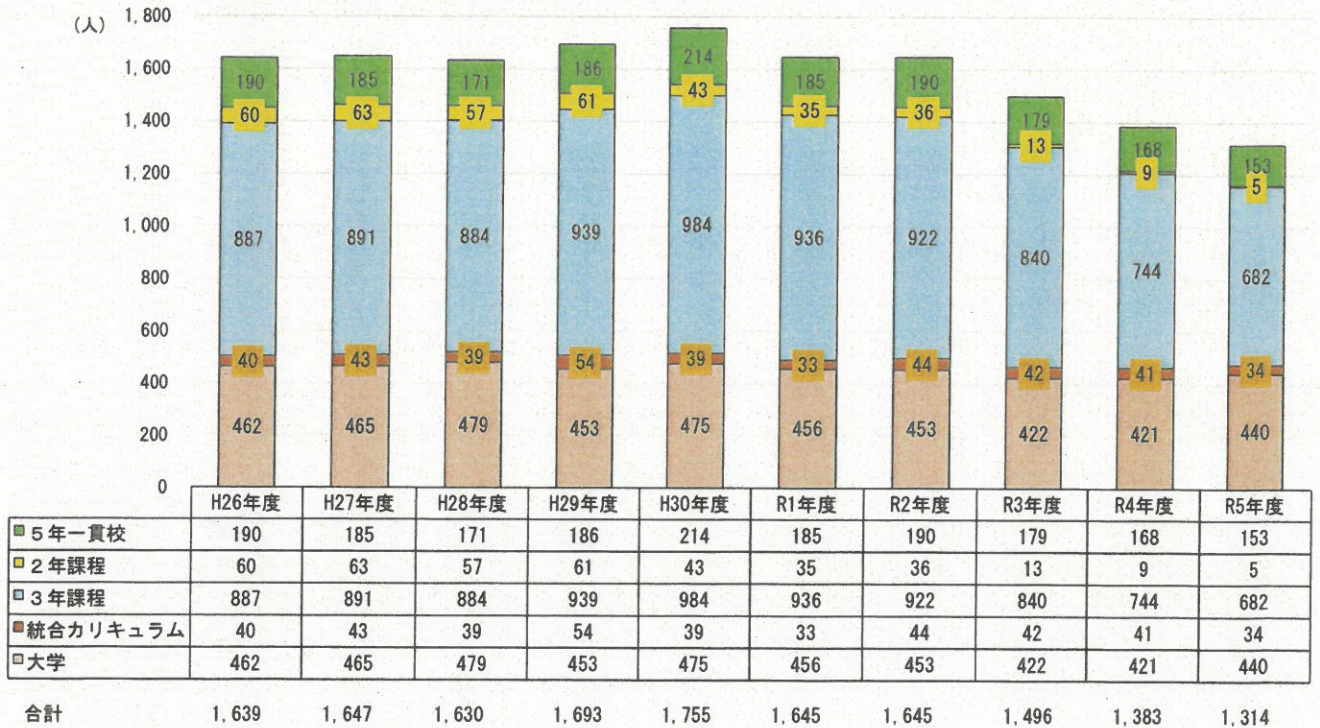
図表 2 - (4) 県内の看護師の学校養成所入学定員の推移 (H26~R5)



【資料】「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」

入学定員数は、R2年度以降入学者の募集停止の養成所があり、減少していたが、R5年度は前年度と同様であった。

図表 2 - (5) 県内の看護師の学校養成所入学者数の推移 (H26~R5)



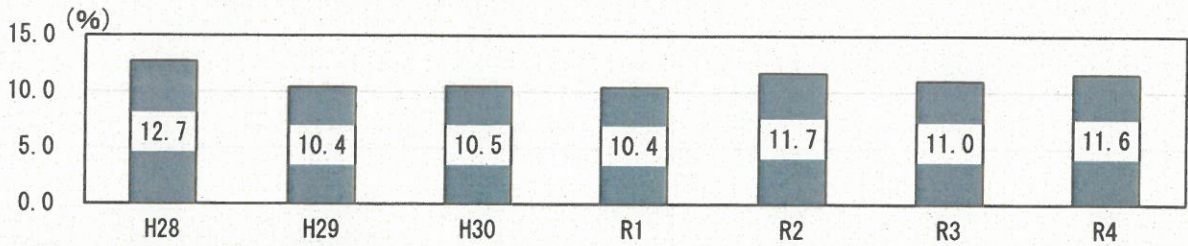
【資料】「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」

R5年度は、昨年度に比べ大学を除いた課程で入学者数が減少した。



### 3 県内の病院看護職員の離職状況

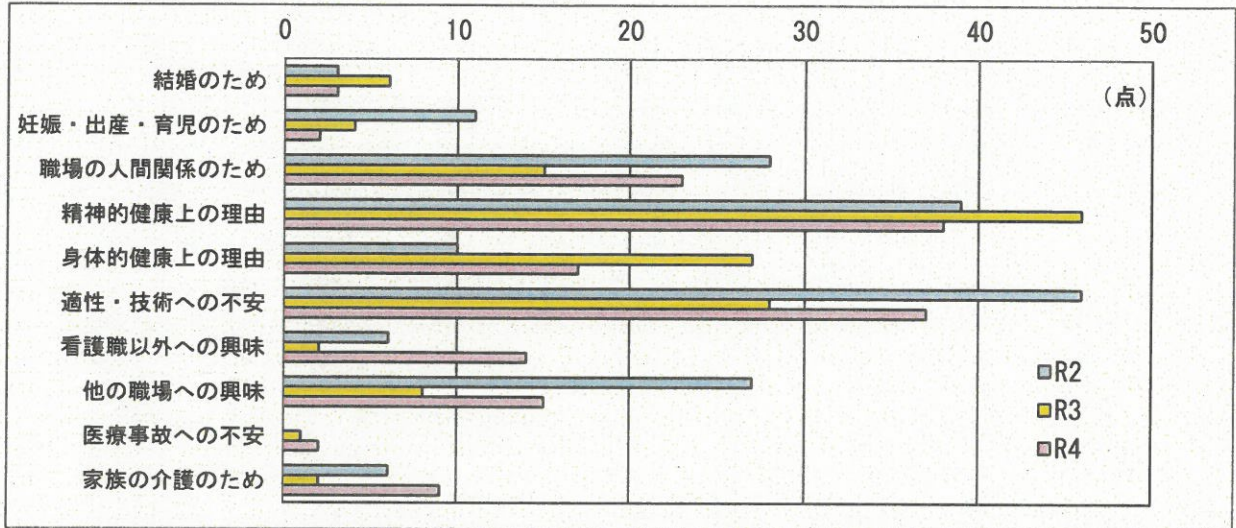
図表3-1 常勤看護職員の離職率の推移



【資料】「岡山県病院看護職員調査」

H28年度からR4年度までの離職率の平均は11.2%であった。H28年度は休床による離職が含まれる。R4年度の離職率の平均は11.6%であり、近年ではH28年度、R2年度に次いで高かった。

図表3-2 新人看護職員の離職理由 (R2~R4年度)

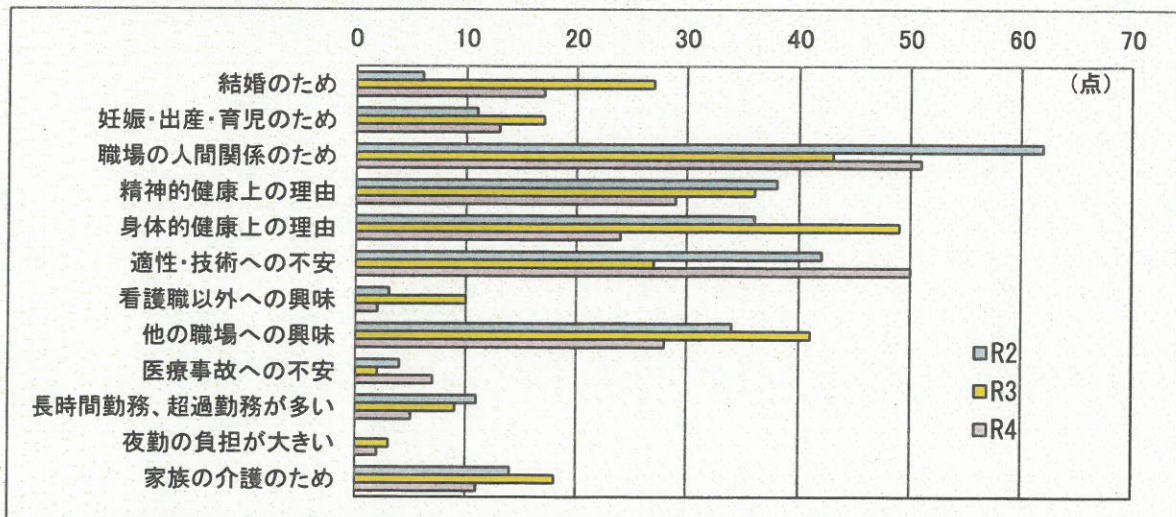


\* R2年度N=89病院、R3年度N=86病院、R4年度N=89病院において把握している離職理由 (1位3点、2位2点、3位1点とする。)

【資料】「岡山県病院看護職員調査」

新人看護職員の離職理由で多いものは、「精神的健康上の理由」「自分の適正能力・看護技術への不安」等であった。

図表3-3 再就労看護職員の離職理由 (R2~R4年度)



\* R2年度N=89病院、R3年度N=86病院、R4年度N=89病院において把握している離職理由 (1位3点、2位2点、3位1点とする。)

【資料】「岡山県病院看護職員調査」

再就労看護職員の離職理由で多いものは、「職場の人間関係のため」「適性・技術への不安」等であった。

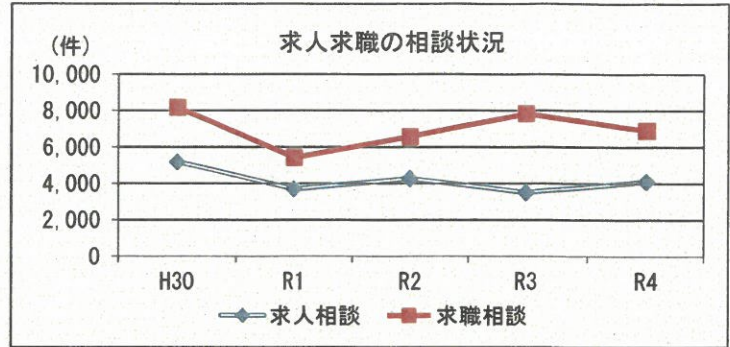


#### 4 ナースセンター事業

図表4-1 求人求職相談・延件数(H30~R4)

年度	求人相談	求職相談
H30年度	5,183	8,165
R1年度	3,704	5,425
R2年度	4,271	6,581
R3年度	3,519	7,835
R4年度	4,107	6,910

【資料】「ナースセンター事業実施報告書」



図表4-2 再就業者数(R3~R4)

年度	再就業者数	職種別内訳				雇用形態別内訳		
		保健師	助産師	看護師	准看護師	常勤	非常勤	臨時
R3年度	370	17	4	339	10	214	77	79
R4年度	342	12	5	309	16	218	59	65

【資料】「ナースセンター事業実施報告書」

図表4-3 求人求職登録数(R4)

	職種別				合計
	保健師	助産師	看護師	准看護師	実数
求人登録施設数					736
求人者数	16	7	941	30	994
求職登録者数	10	5	173	11	199

【資料】「ナースセンター事業実施報告書」

図表4-4 年度末時点の求人求職登録数の推移(H30~R4)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
求人登録施設数	794	754	727	757	736
求人者数	1,065	866	1,023	1,003	994
求職登録者数	307	215	185	173	199

【資料】「ナースセンター事業実施報告書」

図表4-5 ナースセンター登録状況(R4~R5)

年度	R4年度	R5年度
離職者数	1788	969
届出者数	660	472
e-ナース登録者数	128	77
就職者数	342	205

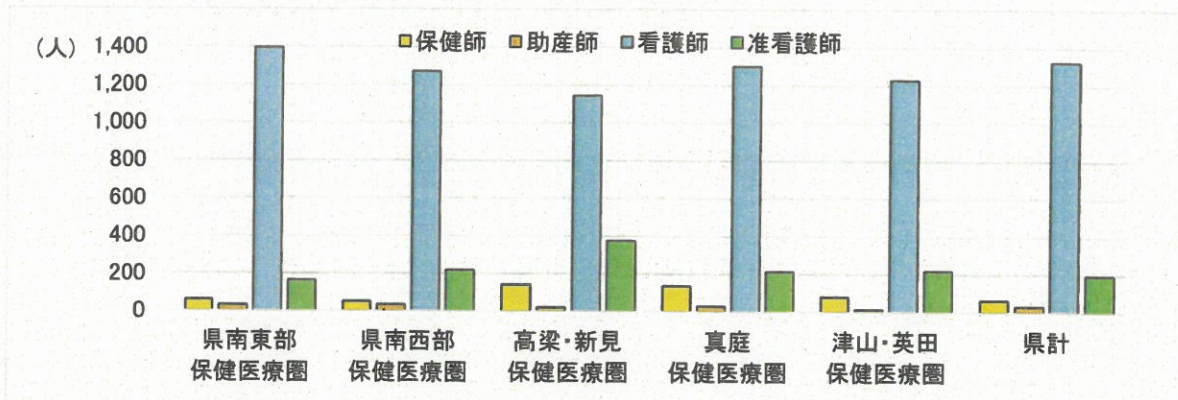
【資料】「ナースセンター事業実施報告書」

(R5年12月時点)



## 5 二次保健医療圏域別の看護職員の状況

図表5-（1）圏域別の看護職員数（R4年、人口10万人対）

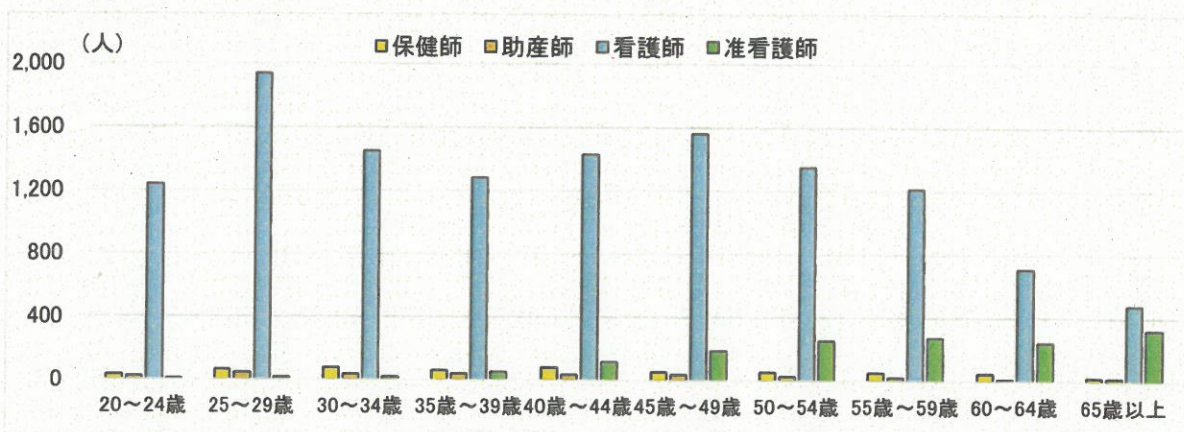


【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

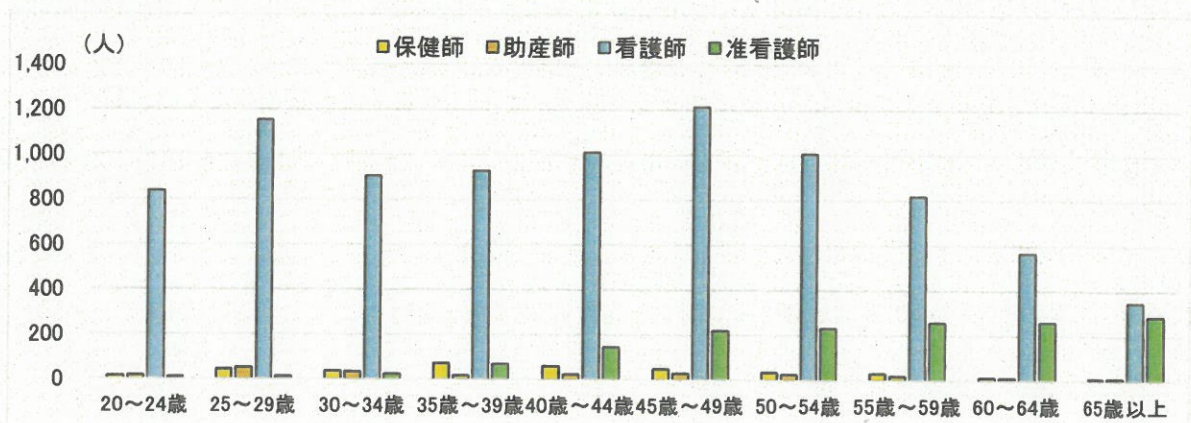
人口10万人対の看護職員については、圏域により差がみられ、高梁・新見圏域の看護師の割合が他の圏域に比べ低かった。

図表5-（2）圏域別年齢別の看護職員数（R4年）

### ① 県南東部圏域

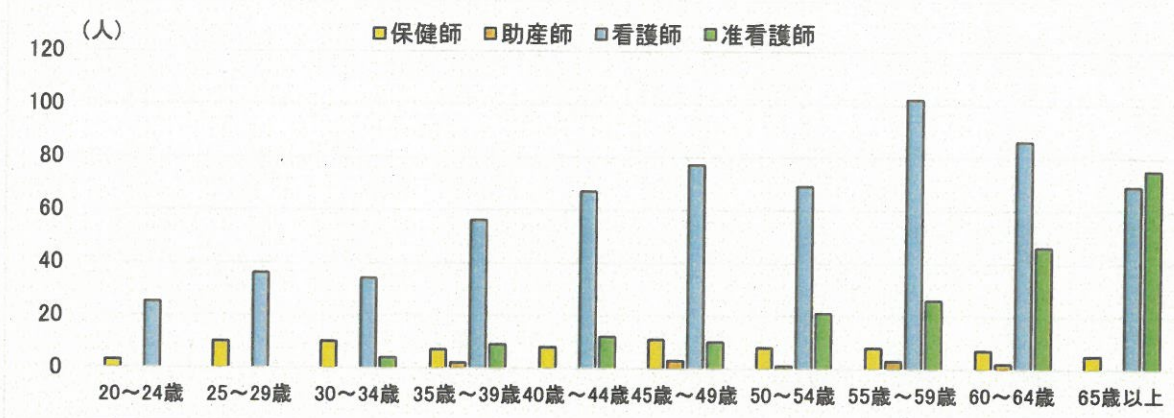


### ② 県南西部圏域

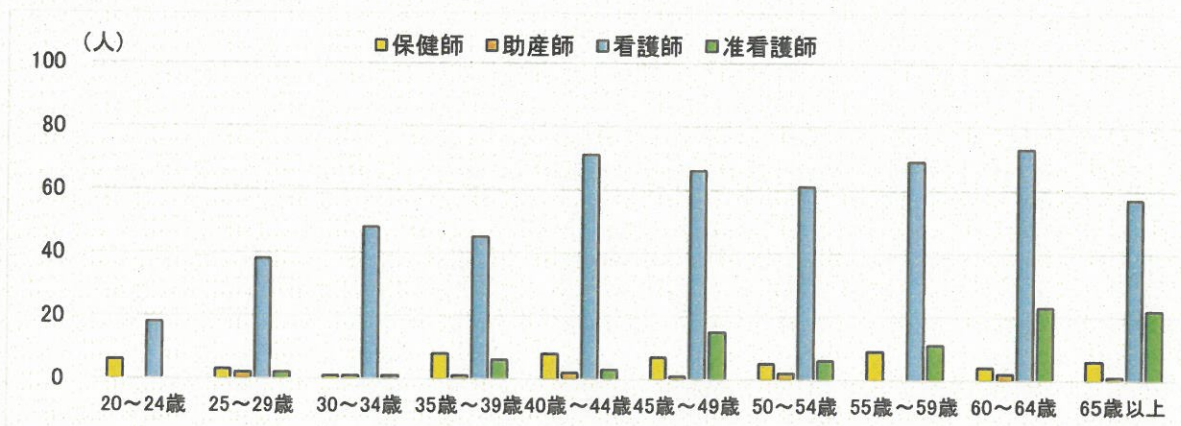




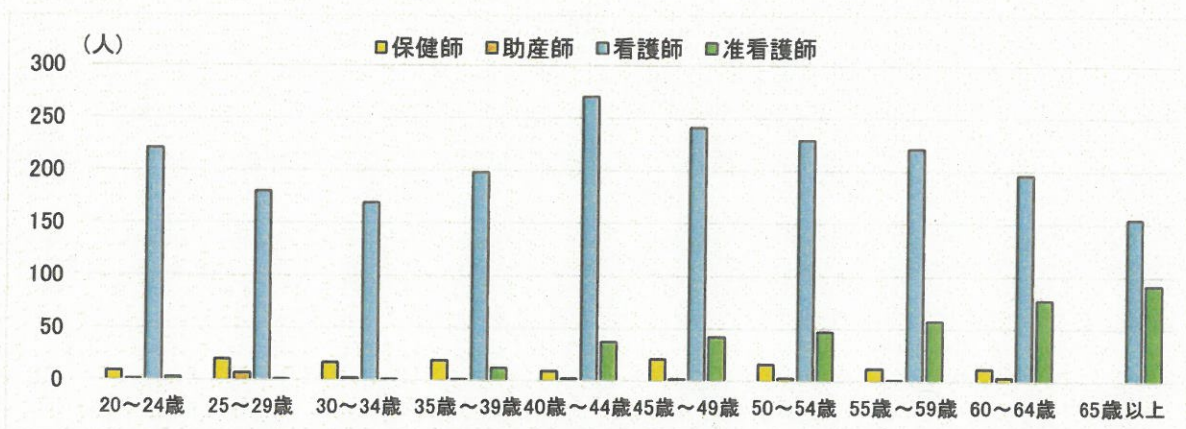
③高梁・新見圏域



④真庭圏域



⑤津山・英田圏域

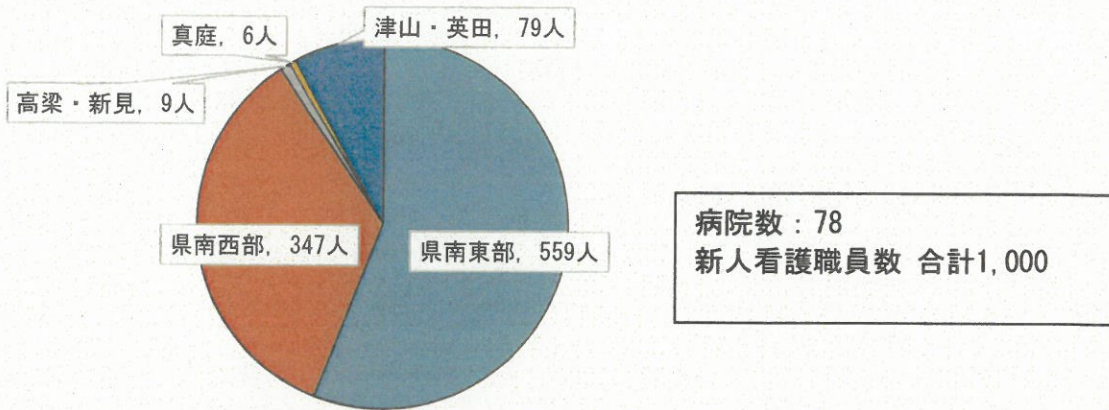


【資料】「保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届」

高梁・新見圏域、真庭圏域、津山・英田圏域は、50歳未満の看護職員の割合が60%未満となっていた。



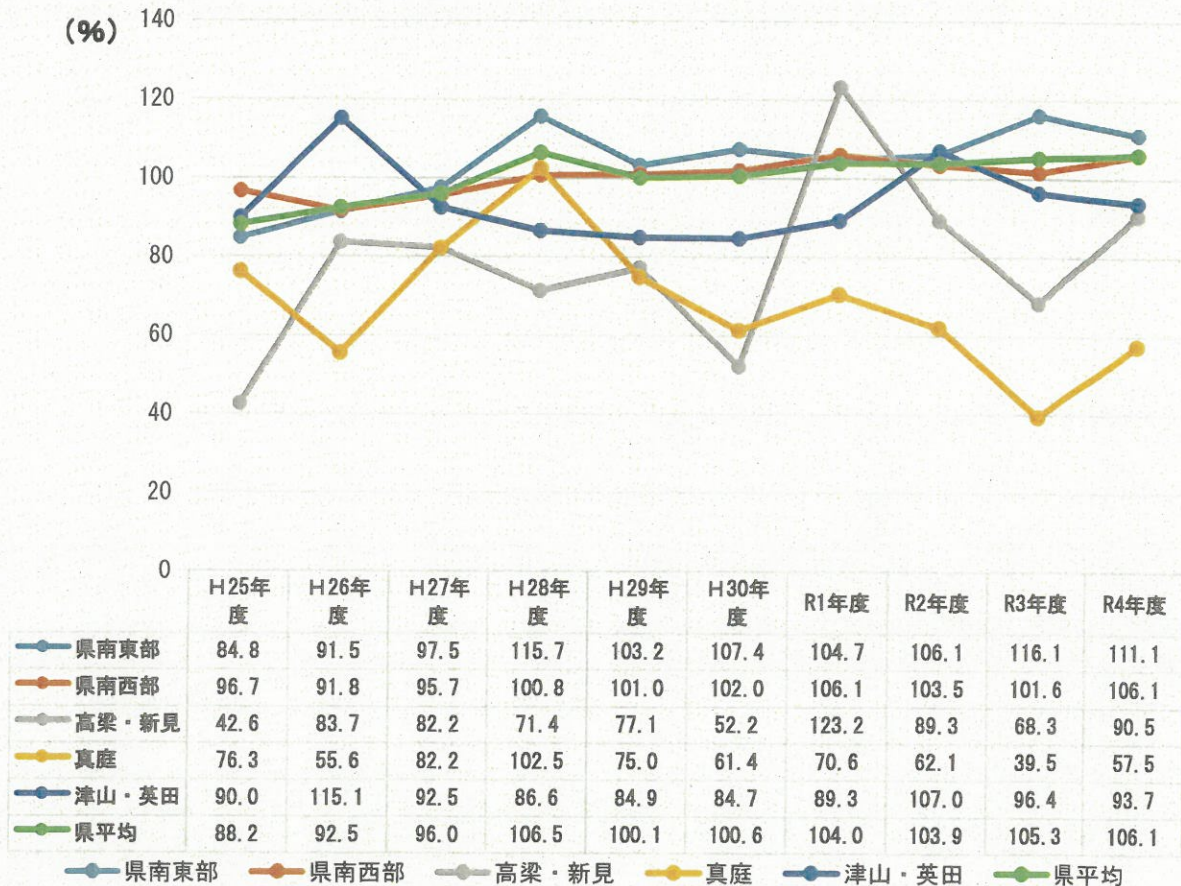
図表5- (3) 圏域別の新人看護職員数 (R4)



【資料】「岡山県病院看護職員調査」

県内の新人看護職員の約90%が、県南東部圏域または県南西部圏域の病院に就職していた。

図表5- (4) 圏域別求人に対する看護職員の確保割合の推移 (H25~R4)



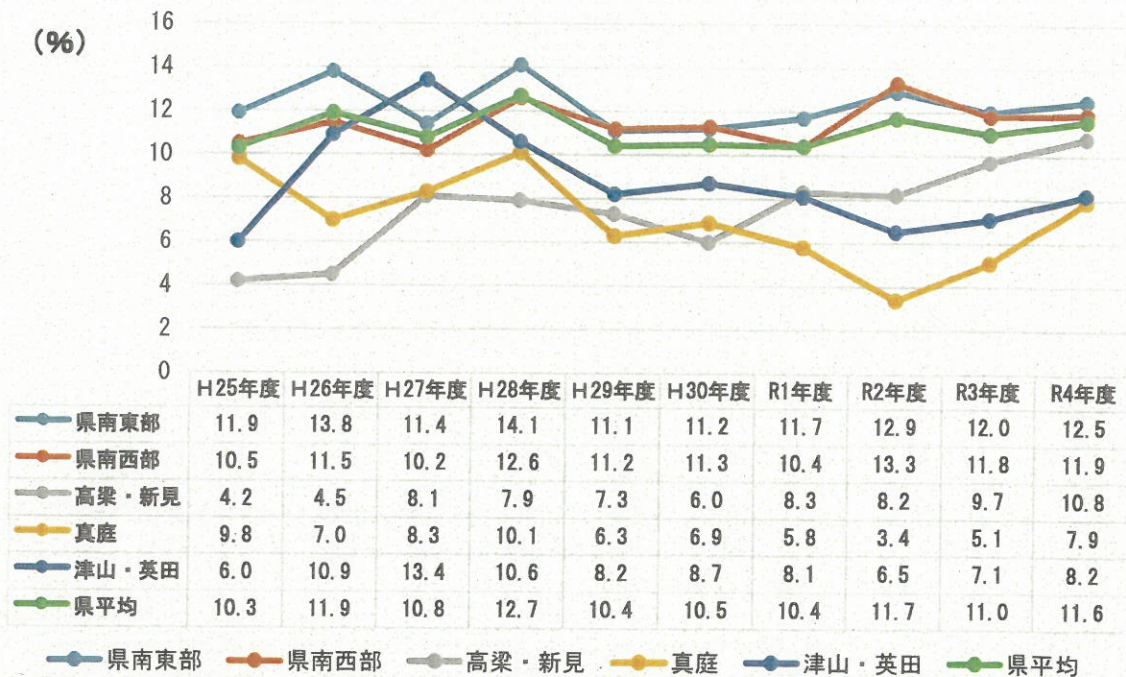
※確保率=採用数÷求人数×100

【資料】「岡山県病院看護職員調査」

看護職員の確保率について、真庭圏域が県平均を大きく下回っている。



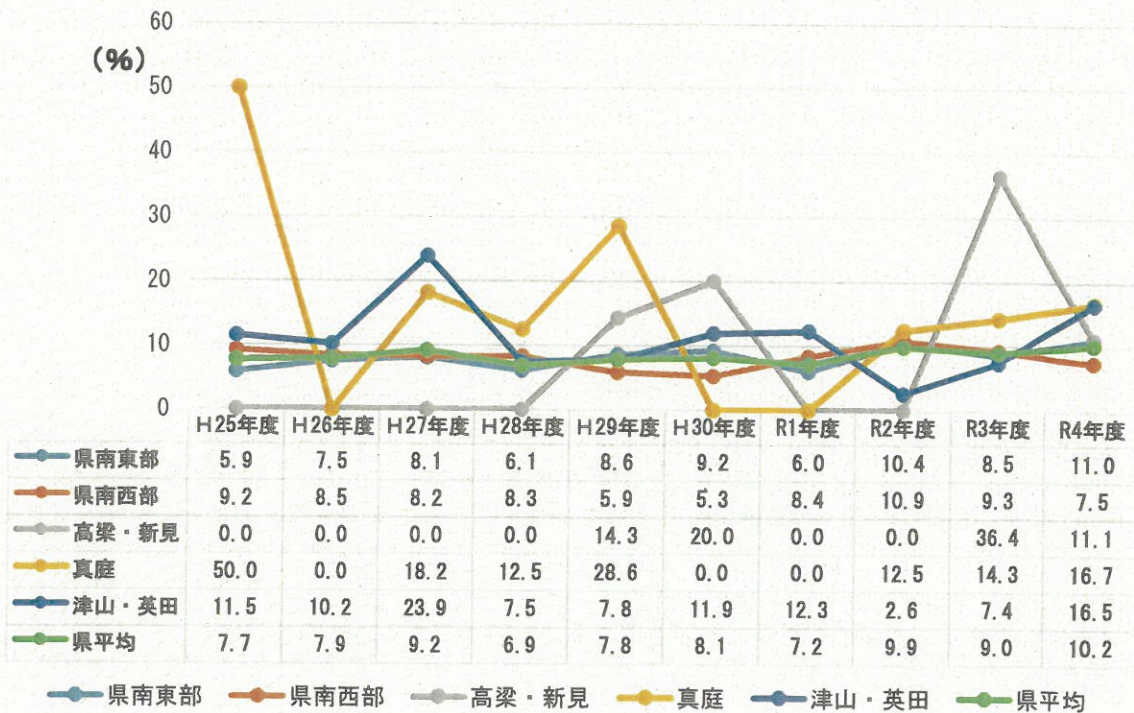
図表5- (5) 圏域別常勤看護職員の離職率の推移 (H25~R4)



【資料】「岡山県病院看護職員調査」

県南東部圏域、県南西部圏域の常勤看護職員の離職率は、県平均に比べ高かった。

図表5- (6) 圏域別新人看護職員の1年以内の離職率の推移 (H25~R4)



【資料】「岡山県病院看護職員調査」

R4年度は、R3年度に比べて県平均が上昇し、県南西部圏域、高梁・新見圏域以外の圏域では離職率が上昇した。